

様式第2（第6条関係）

電気工事士免状交付申請書

令和 年 月 日

佐賀県知事 殿

〒

申請者 住 所

フリガナ

氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

電話番号

電気工事士法第4条第2項の規定により第一種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

電気工事士免状を受ける資格（○で囲む）	1 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する 2 認定
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

※免状の送付を勤務先へ希望する場合は

勤務先

【個人情報について】

お預かりした個人情報は、その目的を達成するためにのみ使い、ご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。

詳しくは、佐賀県のホームページの「佐賀県個人情報保護方針」をご覧ください。

実務経験証明書

氏名			生年月日
			年 月 日生
現住所	〒		
現在の勤務先名 及び所在地	会社名	(電話：)	
	所在地	〒	
実務経験の期間及び内容			
会社名及び所属部署			
期間	業務の内容		
通算期間		年 月	
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 令和 年 月 日 〒 所在地 法人名 代表者氏名		(登録電気工事業者の登録又は届出番号) 県知事・産業保安監督部・経済産業省 登録 ・ 届出 第 号 ※建設業の許可番号ではありません。	
		印	

記載例 1

※第二種電気工事士として一般用電気工作物の工事に従事した場合

実務経験証明書

氏名	高 圧 太 郎		生年月日
			昭和55年 9月 3日生
現住所	〒0000-0000 佐賀市城内〇丁目〇番地〇号		
現在の勤務先名 及び所在地	会社名	〇〇電機株式会社 (電話:)	
	所在地	〒0000-0000 佐賀市松原〇丁目〇番地〇号	
実務経験の期間及び内容			
会社名及び所属部署	〇〇電機株式会社 〇〇課		
期間	業務の内容		
平成19年10月1日 ～ 平成29年3月31日	平成19年3月 第二種電気工事士免状取得 〇〇県第〇〇〇〇号 左記の期間、一般用電気工作物の新設及び改修工事約△△件に作業者として従事し、主に次のような工事を行った。 ・分電盤設置工事及びブレーカ等取付配線工事 ・コンセント用低圧屋内配線工事 ・照明器具取付工事 ・接地工事 ・工事名 平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月 ・工事名 平成〇〇年〇月～平成〇〇年〇月 ・工事名 令和〇年〇月～令和〇年〇月		
通算期間	年 月		
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。 令和 年 月 日 〒0000-0000 所 在 地 法 人 名 代表者氏名		(登録電気工事業者の登録又は届出番号) 佐賀 (県知事) ・ 産業保安監督部 ・ 経済産業省 (登録) ・ 届出 第 〇〇〇〇〇〇〇〇 号 ※建設業の許可番号ではありません。	
		印	

従事期間が長い工事から3つ記載（工事名、従事期間）
してください。

記載例 2

※電気主任技術者のもとで自家用電気工作物の工事に従事した場合

実務経験証明書

氏名	高 庄 太 郎		生年月日
			昭和55年 9月 3日生
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 佐賀市城内〇丁目〇番地〇号		
現在の勤務先の 名称及び所在地	名称	〇〇電機株式会社 (電話:)	
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 佐賀市松原〇丁目〇番地〇号	
実務経験の期間及び内容			
会社名及び所属部署	〇〇電機株式会社 〇〇課		
期間	業務の内容		
平成19年4月1日 ～ 平成29年3月31日	<p>左記の期間、電気主任技術者（設備課長）の指導・監督のもとで、作業員として最大契約電力 500kW 以上の自家用電気工作物の新設及び改修工事△△件に従事し、主に次のような工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備の設置工事、改修工事 ・工場内の動力盤、制御盤の設置工事 <p>主な工事実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇ビル（最大契約電力 1500kW） 平成△△年△月～平成□□年□月 ・××工場（最大契約電力 3000kW） 平成△△年△月～平成□□年□月 ・〇〇事務所（最大契約電力 525kW） 平成△△年△月～平成□□年□月 		
通算期間	10年 0月		
上記のとおり、実務経験を有することを証明します。		<p>(登録電気工事業者の登録又は届出番号)</p> <p>佐賀 <u>県知事</u>・産業保安監督部・経済産業省 <u>登録</u>・届出 第 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 号 ※建設業の許可番号ではありません。</p>	
令和 年 月 日			
〒〇〇〇-〇〇〇〇			
所在地			
法人名 代表者氏名	印		

実務経験証明書の記載要領

実務経験証明書の記載については、以下のことに注意してください。

- 1 実務経験証明書を手書きする場合は、黒のボールペンまたは万年筆を使用し、楷書で正確に記入してください。
- 2 勤務先の名称は、略称ではなく正確な名称を記入してください。また、電話番号も正確に記入してください。
- 3 実務経験証明書の証明者は、次に掲げるいずれかの者とします。

(1) 申請者が、電気工事業者等に現に雇用されている場合又は過去において雇用されていた場合において、当該申請者の雇用主又は雇用主であった者。

例えば、	(勤務先)		(証明者)
	株式会社	→	代表取締役、取締役社長
	私立学校等	→	理事長、学校長
	官庁	→	局長（地方局の局長を含む。）
	陸上自衛隊	→	方面隊の長以上
	都道府県	→	知事、公営企業管理者

なお、実務経験に必要な期間が2か所以上の会社等にまたがる場合には、それぞれの雇用主からの証明書を必要とします。

- (2) 電気に関する工事又は保安に係る事業を行う公益法人の代表者
 - (3) 各都道府県電気工事業工業組合その他これに類する法人格を有する団体の代表者
 - (4) 2以上の電気工事業者等（申請者本人が個人企業者であるような場合）
 - (5) 上記（1）に該当する雇用主が実務経験の証明に関する権限を、支社長、支店長等に委任する場合には、委任状を提出してください。
- 5 職務の内容欄は、特に次の点について注意してください。
 - (1) 電気主任技術者免状の交付を受けている者、又は電気事業主任技術者の資格を有する者は、電気主任技術者免状の交付を受けた後、又は電気事業主任技術者となった後の電気工作物の工事、維持、又は運用に関する実務の経験を記入してください。
 - (2) 高圧電気工事技術者試験に合格した者は、試験合格後の電気に関する工事（電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する工事）の実務経験を記入してください。

第一種電気工事士免状取得に係る実務経験

○実務経験として認められる電気工事

電 気 工 作 物		実務経験として認められる電気工事
		H2. 9. 1以降
事業用電気工作物	電気事業の用に供する電気工作物 (主に電力会社の発電所、変電所、開閉所、電線路等が該当する。)	① 左記電気工作物の設置・変更の工事。
	自家用電気工作物	
	最大契約電力 500kW 以上の 需要設備、発電所、変電所等	② 認定電気工事従事者認定証を取得後に行った左記電気工作物の簡易電気工事。
	最大契約電力 500kW 未満の 需要設備	
一般用電気工作物		③ 第二種電気工事士免状または旧電気工事士免状を取得後に行った左記電気工作物の電気工事。
_____		④ 経済産業大臣が指定する第二種電気工事士養成校の教員として指導した「第二種電気工事士養成に必要な電気工事の実習」。

○職務の内容の記載例

1. 一般用電気工作物の工事に従事した場合

- 平成〇年〇月第二種電気工事士の免状取得後、住宅等の一般用電気工作物の新設及び改修工事〇〇件に作業員として従事し、主に屋内配線工事、配線器具の取り付け等を行った。(年間約〇件)
(注) 第二種電気工事士免状の提示が必要。第二種電気工事士免状取得以降実務経験となる。

2. 自家用電気工作物の工事に従事した場合

- 主に以下の自家用電気工作物の新設、増設、改修工事に〇〇件従事した。(年間約〇件)
(以下主な工事を挙げて記入、年間1件程度)
(例) ・〇〇ビル(最大契約電力 1500kW) 平成〇年〇月～〇月
・〇〇(株) 〇〇〇工場(最大契約電力 1500kW) 平成〇年〇月～〇月
・自社工場(最大契約電力 2500kW)において、受電用変圧器の増設工事、照明器具、分電盤の取り付け等の低圧屋内配線工事に従事した。(実施回数年間約〇件)

3. 電気主任技術者の資格で認定を受ける場合

- 昭和〇年〇月に第三種電気主任技術者免状取得後、平成〇年〇月に自社本社ビル(受電電圧 6kV、最大電力 1500kW)において、電気主任技術者に選任され、電気設備全般について、保安規定に基づく日常点検、定期点検等を実施したほか、負荷管理、改修工事、係員の指導監督等を行ってきた。
(工事件数年間〇件)
(代務者も可)

4. 注意! ※下記の工事・業務は実務経験にはなりません!

- ・軽微な工事 ・特殊電気工事 ・保安通信設備工事
- ・電圧 5 万ボルト以上の架空電線路の工事 ・設計、検査、保安業務
- ・平成 2 年 9 月 1 日以降に行った 500kW 未満の自家用電気工事(認定電気工事従事者認定証取得者は除く) ・キュービクル、変圧器等の据付けに伴う土木工事 ・電気機器の製造